

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	《交通安全施設整備事業》						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	道路課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	道路係		
	総合計画 分野別計 画	主目的	5 都市基盤		23 道路		2 歩道整備を進める				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	2	目	6	大	3	中	
	根拠法令・個別計画	道路法									
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営				地域住民組織		<input type="radio"/> 一部又は全部委託			
		指定管理・外郭団体		名称:							
		NPO・その他		名称:							
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	・交通弱者である歩行者や自転車の安全性を確保する。										
内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道や自転車歩行者道の整備。 ・交差点を改良することにより、右折帯設置、歩車道分離及び交通安全施設の整備。 ・工事の設計、積算及び施工管理、用地買収に関する事務 <p>【委託業務内容】 設計、測量、物件調査等の委託(委託料:23,331千円)</p> <p>【工事の内容】 南外山屋敷4号線歩道設置事業L=147m、下末中屋敷9号線歩道設置事業L=127m、北外山小木線歩道設置事業L=60m、野口大草線歩道設置事業L=142m、元町二丁目5号線歩道設置事業L=62m、北外山文津線交差点改良事業L=83m、その他の交通安全施設整備事業L=1041m(工事契約金額:107,964千円)</p> <p>【用地買収】(用地購入費:10,014千円)(物件補償費:18,071千円)</p>										
受益者負担	無	内容									

			単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
	コスト	直接経費		千円	183,665	159,381
正職員		従事者数	人	1.50	0.00	0.00
		人件費	千円	8,047	0	0
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0
費用合計		千円	191,712	159,381	265,800	
対前年比		%		83.1		
財源	一般財源		千円	169,712	159,381	71,800
	国・県支出金		千円	22,000	0	0
	その他財源		千円	0	0	194,000

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23
		整備延長	m	目標	1,090	1,620	1,135
				実績	1,563	1,662	
				目標			
				実績			
				目標			
	実績						
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
		整備延長	m	目標	1,090	1,620	1,135
				実績	1,563	1,662	
			目標				
			実績				

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	<p>主要な通学路ではあるが歩車道の分離がされてない箇所が幾所もある中、地元要望等により歩道整備計画の活動指標(成果指標)を定め、年次計画の整備延長として達成されている。</p>		
	事業を廃止・休止したときの影響	<p>市民が安全で快適な交通環境の形成を図るための手段として、当該事業を実施しているため。廃止すれば交通弱者である歩行者の安全性の確保が図れなくなる。</p>		
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	<p>活動指標の目標値を上回る進捗を図れており、また、地元要望に応えるとともに、交通弱者である歩行者や自転車の安全性の確保が図られていることから現状維持と判断とした。</p>		
	今後の事業の方向性(今後の取組み・改善計画等)	<p>主要な通学路を中心とした歩行者等のための歩道整備事業、幹線道路の交差点における交通渋滞解消を目的とした交差点改良事業と大きく2つにわけられるが、歩道整備事業に力を入れ、歩行者等の安全性を図っていく。</p>		

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	一次評価のとおり		